

各 駅 停 車

社会福祉法人 豊田市福祉事業団

福祉と障がいのある方を理解するための情報紙

No. 23 2008. 1. 10(季刊)

豊田市こども発達センター たんぽぽ

TEL0565-32-8982



「たんぽぽ」は0歳から就学前のお子さんで、からだや手足の運動機能の発達がまだ不十分で、立ったり、歩いたりすることに今少し時間がかかるお子さんが親子で通っています。それぞれの発達に合わせて活動を行い、「こころ」と「からだ」の成長を促しています。

《 紹介します 》 たんぽぽで行っている活動の中から、「チャレンジタイム」「プール」「音楽遊び」

チャレンジ タイム

『チャレンジタイム』は、登園後、親子で毎日20分間、お子さんの運動機能に合わせて行っている活動で、「ふれあい体操」と「歩行」です。

「ふれあい体操」

手足や身体の緊張が強く、歩いたりすることに今少し時間のかかる子は、1日をリラックスして過ごすために、始めに音楽に合わせて体操をします。心臓から遠い手足のマッサージから始め、脚の曲げ伸ばし、うつ伏せなど様々な姿勢をとりながら行っています。お母さんの手のぬくもりや声かけで、心も体もあたたまった状態で1日が始まります。

「歩行」

伝い歩きをしている子、歩行器を使って歩いている子、お母さんに両手を握ってもらって歩いている子と様々です。どの子どもでもできるところから始めているので、無理なく移動することを楽しんでいきます。

手足を
マッサージして



歩行器を使って



プール

プール活動は5月～11月の毎週木曜日に水温32℃、室温34℃の温水プールに親子で入ります。プールの効果として、①浮力があるので立位の姿勢がとりやすい ②水の流れから内臓に刺激が受けられる ③心身のリラックスが親子とも図ることができる ④手足が自由に動かせる、などがあげられます。

活動内容として、保護者の体操、子どもたちの水慣れ、集団遊び、自由遊びを取り入れています。はじめは緊張していた子ども、水慣れを工夫することで、水の楽しさを感じたり、浮き輪を使って1人で自由に手足を動かして浮いたりなど、普段動きの少ない子どもも身体を動かすことが嬉しくて笑顔いっぱいになります。



音楽遊び

音楽遊びは月に1度、個々の発達段階に合わせて2つのグループに分かれて子どもたちの親しみやすい曲を使いながら行います。①心身に障がいのある子どもでも活動に参加しやすい ②「こころ」や「からだ」の発達を促す ③生活の幅を広げる、という目的のもと音楽療法士やたんぽぽの職員が指導します。

活動内容は、歌を使っの「あいさつ」から始まり、鈴のついたロープの輪をみんなで持って揺すったり上下に動かしたりする「鈴輪遊び」、季節の曲に合わせてタンバリンや鈴、カスタネットを鳴らす「楽器遊び」、親子でリラックスする「パラシユート」、足の裏をさすったり、たたいたりする「タッピング」など、いくつかある遊びの中からプログラムを組んで行います。繰り返し経験することで、最初は楽器に触ることに慎重だった子が、自分から手を伸ばし触ろうとしたり、楽器の音が聞こえると音の鳴った方向に目を向けたり、親子の触れ合いで笑顔になるなど豊かな表情の変化が見られます。

音楽遊びの楽器





「たんぼぼ」では、4・5歳児のお子さんと一緒に遊んでくれる

療育ボランティアを募集しています

- ▶ **と き** 毎週月曜日（8月と3月と祝日を除く）午前10：00～12：00
- ▶ **と ころ** 豊田市こども発達センター内 肢体不自由児通園施設「たんぼぼ」
- ▶ **内 容** 4・5歳児の生活・体操・遊び・散歩などの介助
- ▶ **要 件**
 - ・定期的にボランティアができる方を希望します。
 - ・療育後、保護者の方にその日の子どもの様子を伝えるためにノートを書いていただきます。
 - ・体の不自由な子どもたちを理解するために実習を行います。（1人1回）
 - ・社会福祉協議会のボランティア保険に加入していただきます。
保険料（年間）… 280円
 - ・ご質問などは下記連絡先までお気軽に問い合わせください。
- ▶ **連絡先**

豊田市西山町2-19
 豊田市こども発達センター「たんぼぼ」
 電話番号 0565-32-8982（担当）おがた さるわたり尾形、猿渡



トピックス

精神障がい者の地域生活を考えるシンポジウム

～ 精神障がい者は今 ～

豊田市福祉事業団では、精神障がい者の地域生活における課題・ニーズを考えるためのシンポジウムを開催します。障がい福祉に関心のある方のご参加をお待ちしております。

- 日 時 平成20年1月26日（土）午前10時～午後4時
- 場 所 豊田市産業文化センター 多目的ホール
- 内 容
 - **基調講演** — クラブハウスの取り組みから —
講 師：加藤大輔さん（ピア・ステーションゆう 施設長）
 - **シンポジウム** — 豊田市の現状とサポートシステムについて —
シンポジスト：加藤大輔さん（ピア・ステーションゆう 施設長）
中垣 均さん（援護寮ビブレ 副施設長）
山口泰臣さん（サンワークショップ 精神保健福祉士）
堀尾志津香さん（サンクラブ 精神保健福祉士）
中神洋二さん（南豊田病院 精神保健福祉士）
松井正宏さん（豊田市社会福祉協議会 社会福祉士）
 - コーディネーター：林 康兵さん（サンクラブ 施設長）
- 問合せ 社会福祉法人 豊田市福祉事業団 障がい者就労・生活支援センター
申込み Tel 0565-36-2120 Fax 0565-36-0567

メ モ

秋の運動会 — こども発達センター ひまわり・あおぞら —

ひまわりは10月20日、あおぞらは25・26日に、元気いっぱい競技を行いました。特にひまわりは、毎年西三河の五市合同で開催し、第40回目の今年が最後となります。五市ふれあい運動会は、オープンしたばかりの「スカイホール豊田」で開催しました。当日は、家族の方やボランティアの方をあわせ、総勢700名の参加者で盛り上げていただきました。子どもたちは、かけっこやサーキットあそび・親子競技などに日頃の成果を十分発揮し、応援の声に応えていました。

